

# 芙蓉会「新会員歓迎会・忘年会」

戸倉蓉子さん 会田理事長の対談も

ドムステザイン代表の戸倉蓉子さん(矢吹出身)を応援する「芙蓉会」は28日、「新会員歓迎会及び忘年会」をプリモヒアット(館沢)で催し、新会員を含む24人が出席した。会は2部形式で進行。芙蓉会の会田征彦会長(会田病院理事)が「本日、それぞれの場で輝いている20人近くの方が新しく仲間入りしました。会員の皆さんは周りのすべての人々に元気を分けてほしいと思います。会の趣旨は『心豊かに美しく生活していくためにはどうしたら良いか』

の特別ゼミ「美しく老いてゆくには」を聴講した。戸倉さんは105歳を生き抜いた、故日野原重明氏(元聖路加国際病院長)の名言の数々を参考に「いくつになっても今日が一

番新しい日と考え、自分の中にまだ、未知数の良きものがあるということを信じて、その開発に今後の人生をかけてみる。クリエイティブ・リタイアメント(物事の考え方の一つ、やりたいことを思い切りやる)の心が大事」と解き、会田理事長と『人生の午後をより良く生き抜くため』に3つの良い習慣(①禁煙②塩分控えめ③バランスある食生活④肥満予防⑤生活環境改善、適度な運動)をテーマに対談した。また3つに「笑う門には福来る」と笑いの効果も付け加え、「矢吹町も高齢者人口が増えています。健康でイキイ

キとした町にするためにどんなことが私たちに出来るでしょうか。一人ひとりのマインド(心、精神、意識)と締めて。町として」と締めくくった。会員たちは身近なことから明るく健康な環境につながるとあって熱心に聴講していた。

役員)の発声で祝杯をあげ、新会員の自己紹介に続き、現会員もあいさつを兼ねて自己紹介。新会員といつても顔見知りばかりで、あつという間に交流の輪が広がった。会計報告、諸連絡後、永木秀美さん指揮の下、全員で「雪の降る町を」を大合唱。館スミ副会長の閉会の言葉で和やかな「歓迎会、忘年会」に幕を下ろした。



戸倉蓉子さん(前中央)を囲んで記念写真に納まる芙蓉会



対談する戸倉さんと会田理事長